

## ▼タズベリク錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 タゼメトスタット臭化水素酸塩 Tazemetostat Hydrobromide 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [EZH2 阻害剤]

【単位】 ▼200mg/錠

【常用量】 1回 800mg を 1日 2回

## ●適宜減量

【用法】 1日 2回

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 ヒストン等のメチル基転移酵素である EZH2 の酵素活性に対する阻害作用を有し、変異型 EZH2 (Y646F 等) のメチル化活性を阻害することでヒストン H3 の 27 番目のリジン残基等のメチル化を阻害し細胞周期停止及びアポトーシス誘導を生じさせると考えられている。

【主な副作用・毒性】 骨髄抑制, 感染症, 味覚異常, 消化器症状, 脱毛, 皮疹など多数

【安全性に関する情報】 二次性悪性腫瘍の発現例が報告 (1) 主な有害事象は無力症, 貧血, 筋痙攣, 消化器症状 (Italiano A, et al: Lancet Oncol 2018 PMID: 29650362) FL/DLBCL での主な有害事象は血小板減少と味覚障害 (Munakata W, et al: Cancer Sci 2021 PMID: 33492746)

【吸収】 食事により tmax が延長 (1)

【F】 約 34% (1)

【tmax】 1~2hr (1)

【代謝】 主に CYP3A4 で代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1.4% [po, 48hr まで] (1)

【CL/F】 単回 175±90.4L/hr, 反復 205±98.6L/hr (1)

【t1/2】 7.6hr [単回] (1)

【蛋白結合率】 88% (1)

【Vd/F】 1600L/body (1)

【MW】 653.65

【透析性】 除去されないと思われる (5)

【OW 係数】

【相互作用】 CYP3A4 を誘導, CYP2C8 を阻害 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】 R-CHOP との併用治療成績 (Sarkozy C, et al: Clin Cancer Res 2020 PMID: 32122924)

【更新日】 20220908

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。